

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターきらら		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんの発達課題を専門的にアセスメントし、お子さんに合わせた支援を提供していること	・お子さんのアセスメントや発達課題について、日々話し合いを行い、携わる職員間での共有をしている ・法人内外の研修について周知し、積極的に学びを深めることを推奨している	・事業所で取り組んでいる遊びの分析などについて、法人内で研修を行う ・子供向け、職員向けにかかわらず、職員間で共有するとよい書籍を購入し発表することで、内容について深め合う
2	・保護者や在籍園との連携を取りながら、発達課題を共有しながら支援を行っている事	・保護者との定期的な面談を設けたり、面談以外でもいつでも相談できるような体制を整えている ・在籍園とは、連絡帳や園訪問、研修会などで顔の見える関係を築きながら情報共有を行なっている	・保護者間でのペアトレーニングなどの実施を検討していく ・在籍園との相互の訪問の機会を増やしていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・きょうだい児間の交流の機会がほとんどないこと	・保護者参加の行事が平日が多いため、きょうだい児が参加できる機会が少ない。	・法人全体で行っている行事や、休日に行っている参観日や研修会などへは家族で参加可能なので、きょうだい児同志のかかわりが持てる時間やプログラムなどを考えていく。
2	・避難訓練などの実施後、掲示版などでお知らせしているが、様々なマニュアルについての周知が足りていない。	・避難訓練を療育中に行っているが、学校などで行われている保護者による送迎訓練などを行っていないため ・様々なマニュアルについて説明する機会が少ないため相談	・保護者による送迎訓練を実施する ・避難訓練などの実施については、掲示版だけではなく、連絡帳に記すなど周知の方法を徹底する ・各種マニュアルは実際のマニュアルを提示しながらの説明に取り組んでいく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
児童発達支援センターきらら		2026年3月27日				50	50	
		利用児童数				62名(2026年2月2日現在)		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	48	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	46	3	1	0	・連絡帳に見れてなかったと数回書いてあることがあったため	・今後より一層お子さんの様子へ気を配っていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	2	1	3	・階段が急なため	・安全に気をつけて昇降します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	50	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	47	2	0	1	・家では見せない色々な姿を引き出してもらっていてとても嬉しいです	・今後も専門性を磨きながら支援を行います
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	46	0	0	4		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	49	1	0	0	・特に困っていることがないため、無理やり今度の課題を考えている	・保護者との発達課題の共有に努めます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	1	0	3	・特に困っていることがないため、無理やり今度の課題を考えている	・保護者との発達課題の共有に努めます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	49	1	0	0	・特に困っていることがないため、無理やり今度の課題を考えている	・保護者との発達課題の共有に努めます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	46	1	0	3	・子どもはいつも楽しんで通っている	・今後も楽しいプログラムを工夫していきます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	27	4	6	13		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	49	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	48	2	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	50	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	49	0	0	1	・連絡帳や送迎時にお話しさせていただくことがありましたが、親身になってアドバイスいただけました	・相談体制を強化し、いつでも相談していただけるように努めます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	37	7	1	5	・保護者同士の交流はありますが、きょうだいの交流はあまりない	・きょうだい児の交流の機会について検討していきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	5	0	4	・体制についての周知、説明はないが、随時声をかけてもらったり声をかけたりして相談に乗ってもらえる	・常時相談体制があることを周知していきます
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	46	2	0	0	・メールフォームへの入力を忘れていた時があったが、そのことについて連絡がなかった	・事務的な処理に誤りがないように努めます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	4	1	8	・行事予定は細かく連絡をいただいています ・自己評価の結果はわからない	・自己評価の結果について周知していきます



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターきらら				公表日	2026年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	・子どもの状況に応じて運動あそびや机上遊びなどが展開できるスペースがある	・通園状況によっては、ロッカーなどが足りないことがあったため、かごなどで代用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	・適切な職員配置に努めている	・子どもの状態に合わせた職員配置を工夫していくことに努めている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	・視覚的にわかりやすく構造化されている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	・清潔で心地よい空間になるよう努めている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	・活動参加が難しい子供に対して、別室対応が可能となっている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	・全職員が定期的に支援会議を行い、評価見直しをしている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	・日々の振り返りで職員間で意見を述べ合っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		・第三者評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0		・勤務日で参加できないものがあるので、伝達講習の内容を充実させていく	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	・常にお子さんの発達の課題の共有に努めている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	・支援にかかわる職員が参加できる日程を調整した上で会議を行っている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		・書式が変わる場合の使い方の周知がより必要	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・常に新しい遊びを提供する工夫をしている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	・毎朝必ず打ち合わせを行い、その日の活動等について把握した上で支援している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	・必ず振り返りを行い、全職員が発言し、共有することに努めている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		・情報提供がどのように活かされているのか、周知を徹底する
	28	(28～30は、センターのみ回答)	-	-	・地域の園を訪問したり情報共有したりしながら質の向上に努めている	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	-	-	・必要な研修に参加できるよう、情報が提供されている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-	・担当職員が参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	5		・地域での交流の機会を設けていないので、今後の検討が必要	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・受入れ時や降園時に保護者とコミュニケーションをとったり、連絡帳で伝えたりすることを心がけている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	・行事や参観日、懇親会などの機会を多く設けている	・ペアトレの機会を検討していく	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	1		・保護者参加型の行事や懇親会を行っているがきょうだいに特化したものがないため、きょうだい間の交流について検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2		・地域住民を招待する行事について検討が必要
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	・法人内の他事業所ともヒヤリハットを共有し再発防止に向けた対策をしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0		